

報告書抄録

ふりがな	しおつこういせき							
書名	塩津港遺跡2							
シリーズ名	大川総合流域防災事業に伴う発掘調査報告書2							
編著者名	重田 勉・濱 修							
編集機関	滋賀県文化スポーツ部文化財保護課 公益財団法人滋賀県文化財保護協会							
所在地	滋賀県大津市京町四丁目1番1号 滋賀県大津市瀬田南大萱町1732-2							
発行年月	令和3年(2021年)3月							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		日本測地系		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
しおつこういせき 塩津港遺跡	しがけん 滋賀県 ながはまし 長浜市 にしあざいちょう 西浅井町 しおつはま 塩津浜	252034	504-003	35度51分54秒	136度16分29秒	20180402 } 20190329	1,440㎡	大川総合流域 防災事業
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
塩津港遺跡	神社	平安時代		掘立柱建物・鳥居・溝		起請文木簡 卒塔婆 鳥居柱 将棋駒 土師器皿 漆器椀		
要約	<p>塩津港遺跡の調査Ⅱである。調査Ⅰで検出した神社遺構で未確認であった東側を調査した。調査Ⅰで見つかった神社を圍繞する溝の南溝・東溝の続きを確認し、2基の鳥居、2棟の掘立柱建物などの遺構を検出し、神社遺構のほぼ全貌が明確となった。溝からは起請文木札や卒塔婆、将棋駒(王将)、漆器椀、土師器皿などが出土し、鳥居跡からは柱材が出土した。調査Ⅰと合わせ平安時代後期の地方における神社遺構の存在と神社での祭祀の実態が明らかになった。</p>							